

下水道使用料の値上げの前に、 下水道事業の見直しを！

なぜ値上げ？

12月議会に下水道使用料の値上げ案が出されました。その理由は、下水道債残高が357億円に達し、その償還額の増加に対して使用料収入が伸び悩み、一般会計からの繰入額が増大しているためというものです。そして、汚水処理経費（維持管理費・資本費）は原則的に使用料ですべて賄う必要がある、としています。

これに対して、市民の皆さんから疑問の声があがっています。

「使用料収入の伸び悩みというがその理由はなにか？」

「償還額の増加は予想できたはず。その計画性に問題はなかったか」

357億円の借金はどうしてできたのか？

下水道事業は極めて公共性の高いもので、その使用料は安価に設定するのが当然です。

大垣市の場合、下水道工事費等を目的とした都市計画税を徴収しており、一般会計からの繰入の中にはその都市計画税が含まれています。それなのに、下水道事業の費用はすべて使用料収入でまかなわなければならないのでしょうか。また、下水道債が本当に必要な事業に対して起債されていたのか、検討する必要があります。

値上げに先立ち、使用料収入の伸び悩み、水洗化（下水道への切り替え）率の低下など、今までの下水道事業を見直すことが何よりも重要ではないでしょうか。

大口使用者＝企業にやさしい大垣市

下の表は、岐阜県下の下水道使用料の比較です。一般家庭の小口使用料と工場などの大口使用料の累進度を見ると、他都市と比べて大垣市は一番低いことが分かります。これは、大口使用者の料金が他都市に比べ、安いことを意味します。

また、水洗化（下水道への切り替え）率が年々下がってきていることから、下水道が整備されても利用しない世帯の割合が増えていると考えられます（グラフ参照）。このことが、使用料収入の伸び悩みの一因となっていると思われます。

※累進度とは、使用量ごとの最低単価と最高単価の幅を表したもので、使用量に関わらず一律の単価ならば、累進度は1となります。

県内都市下水道使用料比較表（単位：円）

使用量/月	大垣市		岐阜市	高山市	多治見市	中津川市
	現行	改定案				
20㎡	1,500	1,700	2,000	2,050	2,050	3,000
30㎡	2,000	2,400	3,050	3,150	3,200	4,300
40㎡	2,500	3,100	4,100	4,450	4,750	5,700
50㎡	3,000	3,800	5,150	5,750	6,300	7,100
500㎡	27,500	39,300	54,650	81,250	103,800	110,060
累進度	1.10	1.14	4.80	2.43	1.19	1.46

